



# つばさ・子育て

## 2014年 8月号



### 今月の行事



- |         |             |                   |
|---------|-------------|-------------------|
| 2日 (土)  | 17:30~20:30 | 育む会交流会            |
| 7日 (月)  |             | 小学校初任者研修 (つばさへ7名) |
| 8日 (火)  |             | 小学校初任者研修 ( ” ” )  |
| 22日 (金) | 10:00~      | お誕生日会             |
| 23日 (土) | 17:30~19:30 | つばさ西夏祭り参加 (5歳児)   |
| 29日 (金) | 18:30~20:30 | りす・もも懇談会          |
| 30日 (土) | 9:00~11:00  | りす・もも懇談会          |

今月の全体職員会議は、8月28日(木)です。  
18:30までのお迎えのご協力をお願いします。

**園内から出る際は、必ず子どもと一緒に!!**  
**絶対に子どもだけで駐車場へ行かせないでください。**

♪「砂場作り」ご協力ありがとうございました7/6♪

テラスでは、母たちが  
0歳児の柵のささくれ取り

砂場枠完成!!! ↓



最後は、子どもたちで砂を運んで、  
砂場の完成!!



## 「共同」という名の底力

仲 濱 真弓

7月は、いろいろなことが実現できた月でした。

まず一つ目は、つばさ・アトムっ子表紙に写真を載せていますが、お父さん（有志）による砂場造りです。父の会“癒るメン”のお父さんに、「砂場の砂が流れないようにするには、どうしたらいいですか？何かいい案があれば教えてほしい。」と相談したところ、砂場を一から作ることにになりました。作業内容は、癒るメンメンバーのお父さんたちが役割分担して、材料手配から、日程設定、お父さんへの声かけなど、ハイスピードで実行に移してくれました。職員の中では、どうしたらいいのか悩んでいた砂場造りが、お父さん達のカであって言う間に実現へと動き出していく、その速さに驚きをお父さんに参加していただき、9時から12時頃までピツピツ作業して、二つ砂場が出来上がりました。暑い中での作業、本当にありがとうございました。固い園庭の土をスコップで掘る。掘った土を運び、石を取り除く。重い枕木を運び、繋げ砂場の枠組みを作る。その作業の一つひとつが、お父さんの力がないと実現できないことでした。お父さんたちが汗水たらして作業してくれている姿を見ながら、子どもたちにお父さんたちが造ってくれたことと、砂場も砂も大事に使うことを伝えていきたいと思いました。タイムオーバーで砂入れ作業が残りましたが、4・5歳児と一緒に最終作業をしたことにも意味がありました。自分たちの砂場は自分たちも造る。子どもたちも、はりきって最終作業を終えました。そういう体験を重ねて、子どもたちの心の片隅のどこかに留めておくことも大事なことと思いました。

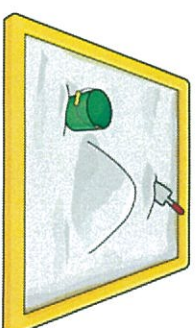
二つ目は、26日の夕涼み会。6月のカンガルーの会をかわきりに保護者と共につくった行事。準備期間は1ヶ月足らずでしたが、保護者に支えてもらいながら若手職員4人が頑張りました。アトム（東保育所）や町立保育所に通っている保護者も、お誘いの声に添えて下さり、夕涼み会の準備から関わって頂きました。夕涼み会当日は、ほぼ予定通り本当にたくさんの方の参加で盛り上がりました。つばさは136家庭中93家庭、アトムは29家庭中18家庭、さくら・町立保育所など他園からの参加は12家庭中1家庭の参加。合計112家庭の参加で、総勢393名もの参加で、大盛況でした。夕涼み会参加者一人一人の表情から、子どもも大人も大笑いして楽しんでくれていることを肌で感じることができ、とても嬉しく思いました。終了後もたくさんの方が日報に「楽しかった。」と感想を寄せていただきました。

2014年特別行事“夕涼み会”大成功！！ご協力ありがとうございました。そして、お疲れ様でした。以下は、保護者の方に支えてもらいながら、行事担当として活躍した若手保育士の感想です。若手だけの担当は今回が初めて。それぞれに何かを感じたようです。職員を支え、育てていただき、ありがとうございました。

### 【前川 良太（フリー担当）】

若手保育士と保護者で夕涼み会を。責任者を任せてもらい1か月間、大人も子どもも一緒に楽しめる夕涼み会を目指して必死の毎日でした。そして自分の無力さを痛感する毎日でした。本当に行事が成功するのか、自分に責任者が務まるのか不安でいっぱいでした。そうして迎えた第一回の会議。予想以上にたくさん保護者の参加でその不安は一気に吹き飛びました。自分一人では何もできないけれど、この頼もしい保護者と真面目で一生懸命の同期3人の力を借りればきっと楽しい行事が出来ると思いました。「りょうた頼りないから手伝うわ！」「できる事あったら無理せんと言ってくれな！」そうやって声を掛けてくれる保護者に本当にたくさん支えてもらいました。そうして迎えた当日。暑い中、つばさ・アトムの垣根を越えて楽しそうに話す保護者、そして何より子ども達の生き生きとした表情を見て、肩の荷がスッと降りた気がしました。自分自身の反省はたくさんあるけれど、夕涼み会やって良かった！大成功や！そう思いました。

自分一人では大したことはできないけれど、皆の力を借りて創り上げた夕涼み会。つばさ・アトムと一緒に過ごす今だからこそ出来た行事だったと思います。一緒になって行事を考えてくれた保護者。持ち帰り作業や、準備を手伝ってくれた保護者。支えてくれた同僚。そして当日参加してくれた人。すべての人に感謝の気持ちを抱きたいと思います。ありがとうございました。



【岡本 華奈 (2歳児担任)】

沢山の方に協力してもらい、夕涼み会無事に終える事ができて、内心今はホッとしています。当日に向けての連日会議や準備は本当に大変だったけれど、保護者と一緒に協力して何かを作り上げることってこういう事なのだと、改めて感じた1か月でした。保護者の方と話をする機会もすごく増えたと、必死にもがいている私たちを温かい目で見守り、声をかけてくれることが本当に嬉しかったです。司会を担当することになった時は、絶対無理！って正直思っていたけれど、保手兵さんと丸山保育士と何回も話し合いをして、準備をしていく内に、自然とイメージが湧いてきて、ちよっとだけ大丈夫かなって思えた自分がいました。大勢の人の前に立つと、やっぱり緊張はしたけれど、隣にはずっと丸山保育士がいてくれて、本当に心の支えになりました。いざ本番を迎えるであろう間に過ぎて、最後は楽しい気持ちで終える事が出来た自分にびっくりにしています。反省点はあるけれど、今は達成感でいっぱいなので、今回は自分で自分を少しだけ褒めてもいいかなって思っています(笑)

つばさとアトムが合同で行う初めての夕涼み会の実行委員として携われたことは、私にとって大きな経験になりましたし、いろんな面からサポートしてくれた保護者の皆さん、職員に感謝しています。本当にありがとうございました。

【高木 雅 (3歳児担任)】

最初に保護者の方から、夕涼み会の実行委員と一緒にしないかと声を掛けられた時は、『若手と一緒にやりたい』と想ってくれた事が嬉しくて、「頑張ろう!!」ととても気合いが入っていました。正直、当日まで1ヶ月をきている準備期間の短さに不安もありましたが、1回目の会議でいろいろな案が出た時にはワクワクが止まりませんでした。私は自分が保育園に通っていた時の夕涼み会がとても楽しくて、今でもその時の風景や雰囲気を感じています。そんな風に子ども達の心にこれからもずっと残るような行事をつくりたいと思っています。私はゲームコーナーの担当でしたが、実際話し合いをすると、実行委員だけではとてもやりきれない事ばかりで、たくさん保護者に声を掛け、助けてもらいました。200個ものメダルを作る作業は、本当に手伝ってもらえるのかと不安でいっぱいでしたが、声掛けを始めたその日にはもうほとんどのクラスの材料が空っぽになっていました。夕涼み会の2日前、本当に間に合わないかもと思っていた準備作業も、前日にたくさんの方が協力してくれ、無事に終える事ができ、嬉しくて嬉しくて仕方なかったです。仕事終わりに準備に駆けつけてくれ、きつとすぐく疲れているのに、私の事をいつも気にかけてくれ、「しんどい時は正直に“しんどい”“助けて”と吐き出し!!すぐ一人で抱え込もうとしない!!」と力強く優しい言葉をかけてくれたお母さん達。その優しさに涙を流した時もありました。そんなたくさんの方の支えがあって迎えた当日は、本当に大成!!子ども達、大人、みんなのとびつきりの笑顔に出会えました!!この一ヶ月間、一人では何も出来っこないけど、みんなで作れる事はとてつもなく大きい事。自分の周りにはいつも見守り支えてくれる人がいる事…改めて大事な事に気付かせてもらえました。協力して下さった保護者の方、職員のみんな。本当に本当にありがとうございました!!

【岡田 美穂 (3歳児担任)】

私にとって今回の夕涼み会は、初めて保護者と一緒に作った行事でした。そして一番感じた事は保護者の力の威大さです。保護者と保育士、それぞれの得意分野を活かしながら、それが一つになった夕涼み会。私の場合はほとんど保護者に頼りっぱなしで…。責任者と言えるほどの役割はきつと果たせていなかったと思います。でも、色々な人の持ち味を活かした“妖怪のおへや”は本当に最高でした。構成を考えなくてくれたお父さん。連絡を回してくれたお父さん。準備にかけつけてくれたお父さん。当日、途中からおどかし役になってくれたお父さん。大仏のお面をかぶって盛り上げてくれたお父さん。作業を分担してくれ、進めてくれたお母さん。少しだけど…と時間を作って手伝ってくれたお母さん。持ち帰り作業を陰ながらやってくれたお母さん達。「全ては子ども達のために…」という思いの一心で、色々な人の協力、支えがあって出来た物。そう思うと、本当に熱い思いがいっぱい詰まった部屋だなあと感じ、とても胸が熱くなりました。実は、私はオーブニング後のダンスで舞台上上がった時から、すでに感極まっています。来てくれた子どもたちのとびきりの笑顔とお父さんやお母さんの驚きの反応と嬉しそうな表情が、何よりも嬉しかったです。思いを込めて準備すること。大変なことの先には得られる物が沢山あること。みんなで力を合わせたら、どんなことでも出来ること。保護者と一緒に力を合わせて…。本当に心強い仲間。信頼できる仲間。夕涼み会があったからこそ、保護者・保育士という関係を一步越えた関係になれた気がします。そしてもっと欲が出てきて…次は何が出来るかな？と、もうワクワクしています。何でもかんでも保育士が主体にならなければと思っていたけれど、そうではなくて、もっと保育士と保護者、子どもたちを取り巻く色々な関係性の中で共同出来ることがあるのでは？と思います。子ども達と一緒に見守り、育てていく仲間になりたいです。今までは保護者に遠慮することもあり「子どもにとってどうか…？」を私は一番に考えられていない時が実際ありました。けれど、そんな自分を反省しつつ、今後の自分を奮い立たせたいです。そんな大事なことを気付かせてくれたのは、夕涼み会に関わってくれた沢山の保護者の皆さんでした。本当にありがとうございました!!